

ISEレポートの機能と使用例

内容

[概要](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[レポート間のナビゲーション](#)

[フィルタ](#)

[簡易フィルタ](#)

[高度なフィルタ](#)

[マイレポートに保存](#)

[レポートのエクスポート](#)

[スケジュール設定済みレポート](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Identity Services Engine(ISE)の「レポート」セクションのさまざまな機能と使用例について説明します。これらのレポートは、ISEのさまざまな機能の監視とトラブルシューティング、および中央集中型の管理ノードからのネットワークアクティビティの傾向の分析に使用されます。

要件

ISEに関する知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco ISE、リリース2.6に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

運用データは、認証されたすべてのエンドポイントとユーザのコンテキスト情報とセッション情報、処理中のバックアップの監査、ノードと同様のノード間トランザクションの登録、管理ログイン、TACACS、ポータルログイン、ページ操作などを含むISE DBです。この情報は両方のMNTに排他的に保存され、オンデマンドで取得され、プライマリ管理ノードへのレポート形式で取得されます。レポートは分類および整理され、診断が容易になります。

注：同じノードでadmin-http-poolスレッドとcpm-mntスレッドの過負荷を回避するために、プライマリ管理者とプライマリMNTのペルソナを異なるノードでホストすることを推奨し

ます。

Hostname	Role(s)	Services	Node Status
[Redacted]	SEC(A), PR3(M)	NONE	✓
[Redacted]	PR2(A), SEC(M)	NONE	✓
[Redacted]	Policy Service	SESSION,PROFILER,DEVICE ADMIN	✓

レポート間のナビゲーション

[Operations] で、[Reports] > [ISE Reports] に移動します。左側のペインにレポートカテゴリのリストが表示されます。各カテゴリはさらにサブカテゴリに分かれています（次の図を参照）。

Report Exported	Exported By	Scheduled	Triggered On	Repository	Filter Parameter(s)	Status	Action
AAA Diagnostics	adminINTERNAL	No	Thu May 07 03:22:54 JST 2020	SOTURN	Logged at EQUALS today	Completed	Cancel
RADIUS Authentications	adminINTERNAL	No	Thu May 07 03:22:02 JST 2020	SOTURN	Logged at CONTAINS last60days	Completed	Cancel

各レポートには、次の図に示す情報アイコンが表示されます。このアイコンには、必要な説明とログカテゴリが表示されます。

Adaptive Network Control Audit	Administrator Logins	Server	Logged At	Message
		Server		

ほとんどのレポートは、アクセス時にデフォルトのフィルタに対して自動的に実行されます。

Health Summaryなどの特定のレポートでは、サーバの選択が必要です。[Go]をクリックして実行し、レポートを表示してください。

Filters

Server: Server | In exactly (or equals)

Time Range: system20 | In exactly (or equals)

Go

フィルタ

ISEでは、各レポートのビューをカスタマイズできます。ISEレポートで使用できる2つのフィルタは次のとおりです。

- 簡易フィルタ
- 高度なフィルタ

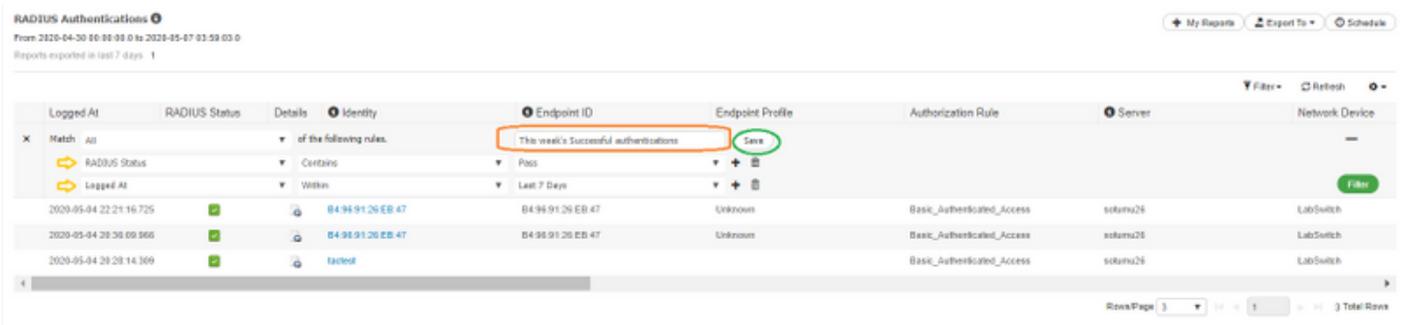
簡易フィルタ

クイックフィルタは、すべてのシングルセクションレポートで使用できます。各カラムのフィールドに検索テキストを入力します。クイックフィルタでは、次のような条件が使用されます。次の条件が使用されます。これらのフィールドでは、文字列とアスタリスクを任意に組み合わせることができます。さらに、右上隅の設定オプションを使用して、レポートに表示する特定の列を選択できます。



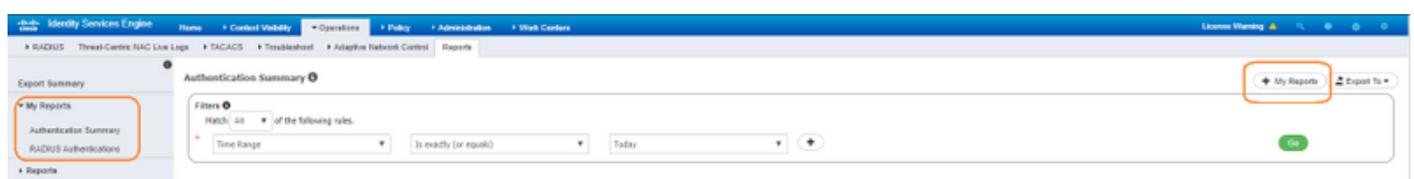
高度なフィルタ

名前が示すように、高度なフィルタを使用すると、管理者は論理フィルタとカスタマイズされたフィルタを作成し、テンプレートを保存できます。[一致ルール]ドロップダウンで、[すべて(AND operation-match all criteria)]または[すべて(OR operation-match any one criteria)]を選択します。次の図に示すように、フィルタをクリックしてレポートを実行し、結果を表示します。



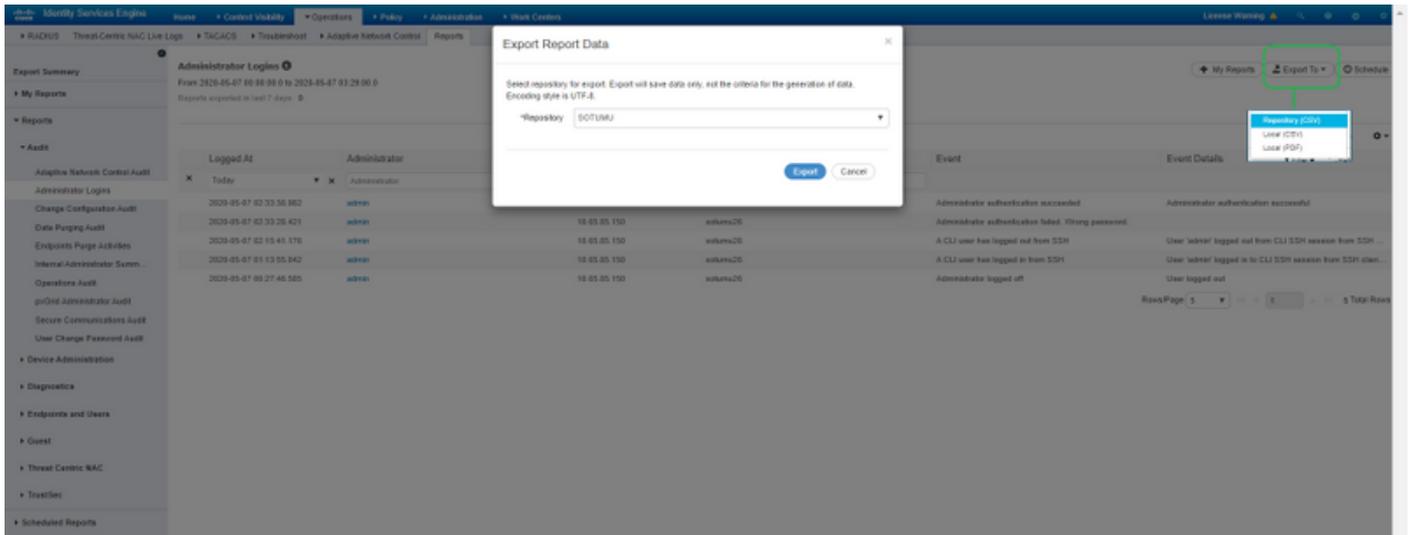
マイレポートに保存

[Reports] タブのこのセクションでは、頻繁にアクセスするレポートを管理者が保存して簡単にアクセスできます。毎回カテゴリを検索する手間が減り、これらのレポートには[マイレポート]からアクセスできます。デフォルトビューに加えて、複数の方法で同じレポートをカスタマイズし、各イテレーションをこのセクションに追加して簡単にアクセスできます。



レポートのエクスポート

次の図に示すように、エクスポートオプションが3つの選択肢に展開されます。



最大5000件のレコードを.csv excelファイルにエクスポートできます (ローカルに保存することも、事前設定されたリポジトリにエクスポートすることもできます)。最大1000件のレコードをPDFファイルにエクスポートできます。これらのレポートはPDFとしてのみエクスポートできます。

- 認証の概要
- 健全性の概要
- ロールベースアクセスコントロールリスト(RBACL)のドロップの概要 (Cisco Catalyst 6500シリーズスイッチでのみ使用可能)
- ゲストスポンサーの概要
- エンドポイントプロファイルの変更
- ネットワークデバイスセッションステータス

注：エクスポートされた.csvファイルで英語以外の文字を表示するには、Microsoft ExcelでUTF-8エンコードが有効になっていることを確認します。

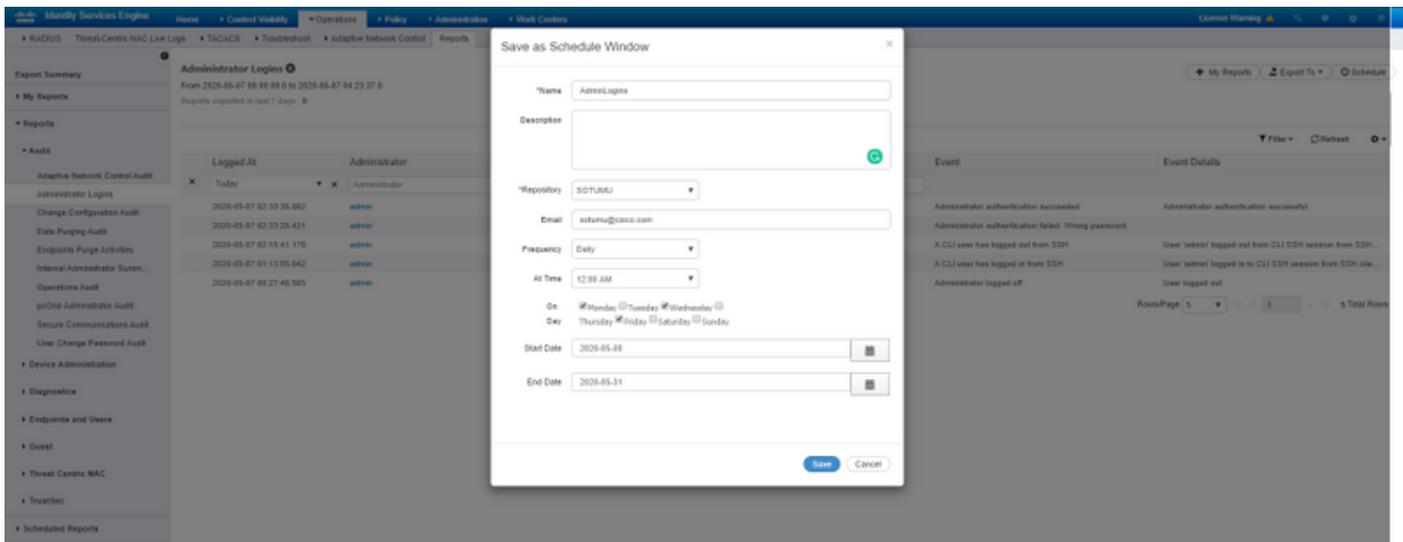
エクスポートの概要：

Report Exported	Exported By	Scheduled	Triggered On	Repository	Filter Parameter(s)	Status	Action
AAA Diagnostics	admin@TERMINAL	No	The May 07 09:22:50 IST 2020	SOTUMJ	Logged At EQUALS today	Completed	
RADIUS Authentications	admin@TERMINAL	No	The May 07 09:22:02 IST 2020	SOTUMJ	Logged At CONTAINS last90days	Completed	

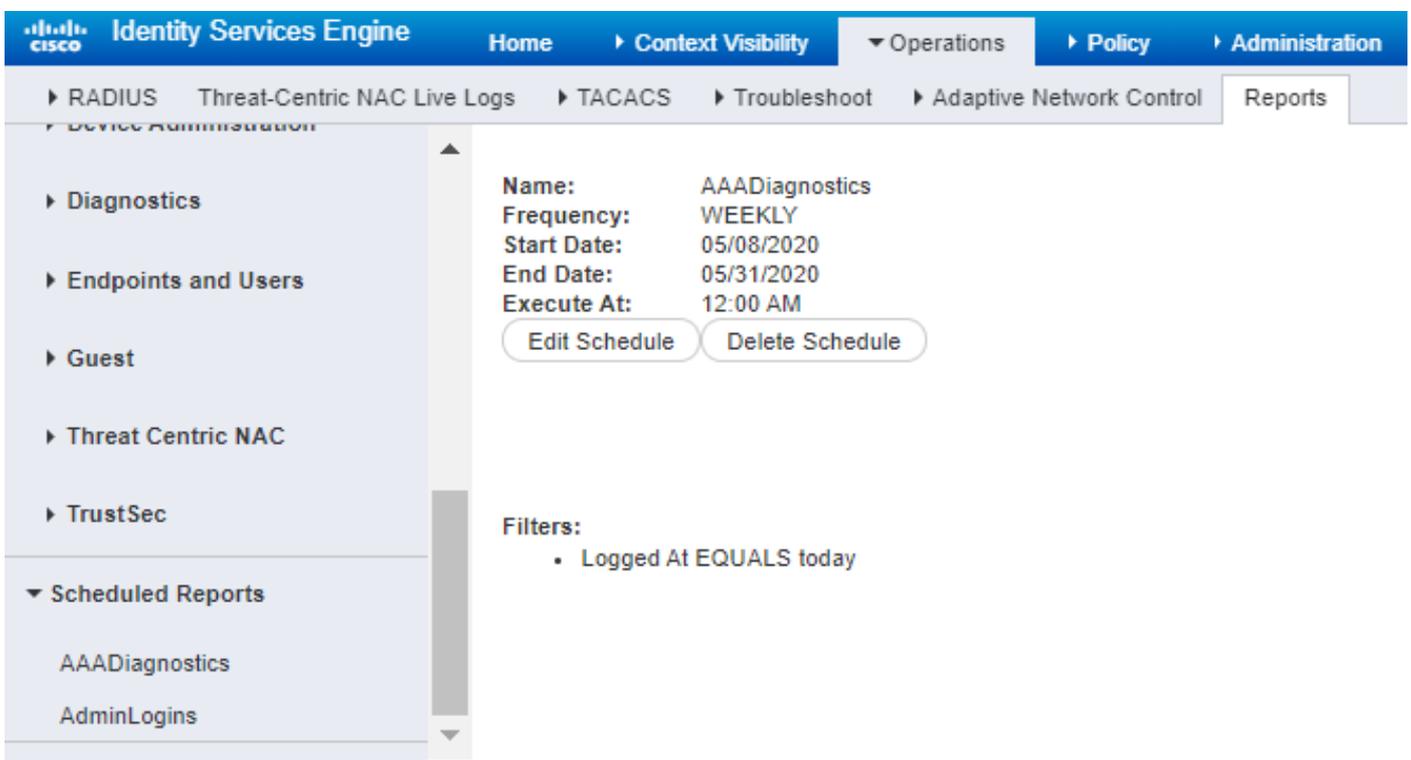
Last Updated: The May 07 2020 03:20:23 GMT+0530 (India Standard Time)

スケジュール設定済みレポート

ISEレポートを使用すると、カスタマイズ、保存、一定間隔でのレポートの実行、リモートリポジトリへのエクスポートを実行できます。ISEがSMTPサーバと統合されている場合は、エクスポートされたスケジュール・レポートの通知に電子メールIDを追加できます([Administration] > [System] > [Settings]に移動)。



スケジュール済みレポートには、次の図に示すように、後でアクセスして設定を編集できます。



ISEの監視とトラブルシューティングの方法の詳細については、『[管理ガイド](#)』を参照してください。